

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年6月22日

埼玉県知事 殿



提出者

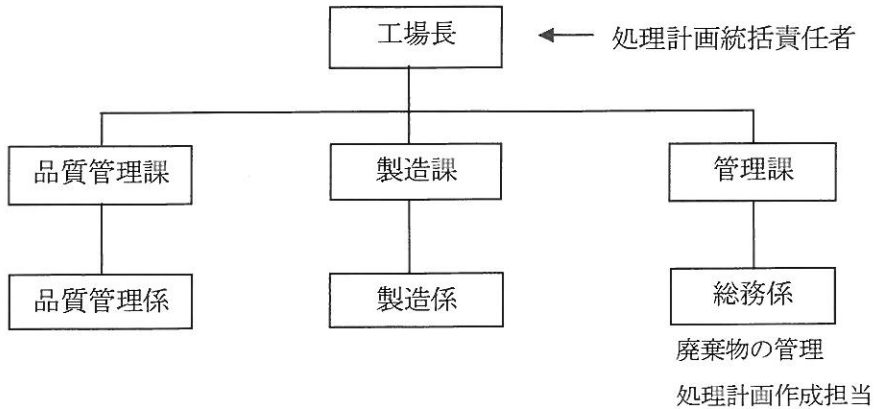
住所 埼玉県東松山市岡字膳棚1871番地
氏名 ジオスター株式会社 東松山工場
工場長 宇田川 徳
電話番号 0493-39-1300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ジオスター株式会社 東松山工場
事業場の所在地	埼玉県東松山市岡字膳棚1871番地
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	中分類 窯業・土石製品製造業 大分類 窯業
② 事業の規模	前年度の製造品出荷額 5億6000万円
③ 従業員数	198人(ジオスター(株)社員22人、協力会社社員176人)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	排 出 量	別紙2参照	t
	(これまでに実施した取組) ・ 廃棄物分別の細分化、木くずの有価物を行った。 ・ 分別処理の推進を行った。(産廃と一般廃棄物の区分) ・ 毎月実施する定例会議の場で廃棄量に関して情報共有を行った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	排 出 量	別紙2参照	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物は種別毎に専用コンテナ(種別表示板あり)、その他廃棄物に関しても同様に区別を行っている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合ゴミ10t削減を目標とします。具体的には牛乳パック、紙コップ等の分別を行い一般廃棄物として処理をする事を計画します。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	全処理委託量	別紙2参照	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2参照	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	全処理委託量	別紙2参照	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙2参照	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物

種類	処分受託者	処分方法
コンクリート製品・くず	⇒ [REDACTED]	⇒ 破碎、再生骨材
コンクリート製品	⇒ [REDACTED]	⇒ 破碎、再生骨材
コンクリート製品	⇒ [REDACTED]	⇒ 破碎、再生骨材
廃プラスチック	⇒ [REDACTED]	⇒ リサイクル処理・燃料化・減溶
廃プラスチック	⇒ [REDACTED]	⇒ 破碎、燃料化
廃プラスチック	⇒ [REDACTED]	⇒ 破碎・圧縮・破碎溶解
木くず	⇒ [REDACTED]	⇒ 破碎減溶・破碎
木くず	⇒ [REDACTED]	⇒ 破碎
木くず	⇒ [REDACTED]	⇒ リサイクル処理・燃料化
木くず	⇒ [REDACTED]	⇒ リサイクル処理・燃料化
混合物	⇒ [REDACTED]	⇒ 破碎
汚泥	⇒ [REDACTED]	⇒ 脱水、調質改良土
汚泥	⇒ [REDACTED]	⇒ 脱水、調質改良土
汚泥	⇒ [REDACTED]	⇒ 脱水、調質改良土

2023年6月
管理課

別紙2
ジオスター株式会社東松山工場産業廃棄物 2022年度処理実績・2023年度処理計画

種 類	2022年度処理実績	2023年度処理計画
コンクリートくず	3,863t	3,100t
廃プラスチック	47t	100t
木くず	12t	20t
混合物	55t	40t
汚泥	0t	40t
計	3,977t	3,300t

※全量再生利用者へ委託